

# 関東ふれあいの道を歩く(埼玉)⑨将門伝説を探るみち

2021年2月8日 池内淑皓

2020年(令2)10月16日(金)GOTOキャンペーンで前日長瀨を歩き、長瀨に宿を取った。

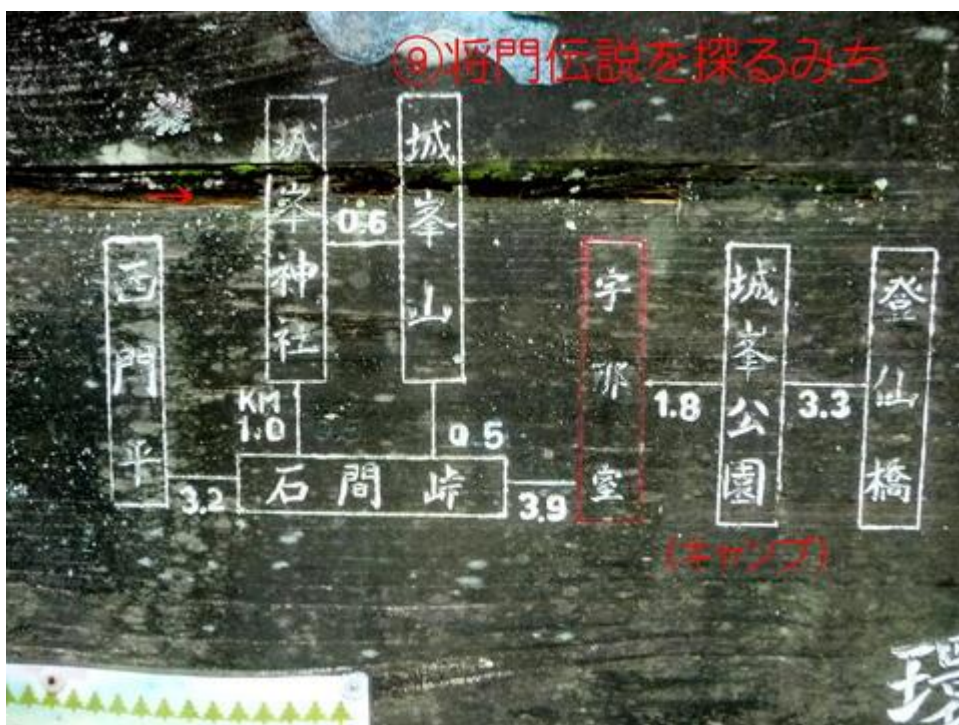
翌日朝一番で皆野駅まで行き、ここから町営バスで城峯山登山口まで行く。城峯山に登り、埼玉県最奥の神川町城峯公園まで歩き、そこでゴールとし、ソロキャンプとする行程を組んだ。

当日横浜まで帰るとすれば、ゴールの登仙橋まで歩き、18:01のバスで神泉支所までバスに乗り、19:06乗り換えでJR本庄駅に出る事となる。



⑨将門伝説を探るみち概念図

(首都圏自然歩道連絡協議会)



行程図

皆野駅⇒西門平バス停⇒石間峠⇒城峯山⇒城峯神社⇒石間峠⇒宇那室⇒城峯公園キャンプ



今日の最寄り鉄道下車駅は 秩父鉄道「皆野駅」



8:23 発皆野町営バスに乗り、西門平バス停まで乗る



バスに乗る人私一人、西門平バス停を通り過ぎ、わざわざ登山口まで送ってくれた。



登山口から林道終点まで舗装道路に行く



ここから山道に入り、小沢沿いに谷を詰めてゆく



それ程傾斜はきつなく、淡々と高度を稼ぐ



「鐘掛城跡」

中世小田原北条側の砦跡。鎌倉北条は甲斐の武田と越後上杉の侵略を防ぐため、秩父方面に多くの砦を築いた。鐘掛城も鉢形城や忍城の出城として築かれたのだろう



天正 18 年、小田原北条氏が滅び豊臣の時代になると、砦はいつしか朽ち果ててしまう



「石間峠」 鐘掛城跡を過ぎれば緩やかな尾根道となり、20分程で石間峠に着く



石間峠は、秩父から上州に抜ける主要な街道となっている要衝の地だ



「城峯山(1037m)」 頂上に電波塔が建ち、山の景観は悪いが素晴らしい見晴らしだ



なぜなら、この頂には一等三角点が立つ。埼玉県には一等三角点が11箇所ある。  
ここから見える一等三角点は雲取山(2018m)、常平山(876m)、三宝山(2483m)の三か所



「城峯神社」

山の直下に位置する神社で、源秀郷がこの地に社を建て、日本武尊を鎮神として中宮とした、と伝える



宮には平将門の額が架かる。天慶年中将門は源秀郷らに追われ、ここ城峯山中に逃げたが発見され殺害されたと伝える。将門の隠れ岩などあるが、案内坂の説明では、史実には無いとの事。将門は秀郷らの軍勢に追われ、天慶三年(940)下総猿島の合戦で矢に当たり戦死した。



将門の首は京に送られ梟首された。旧臣達はここ秩父山中奥深く逃れたと言う



石間峠から南へ埼玉県最北の宇那室集落に向かって、快適な尾根を下ってゆく



風情のある道標を見つけた



宇那室、矢納辺りの山深い山村風景、下の道はバス道路



今日のゴールはこの山村の山の上にある城峯公園、ここでキャンプをすることにしたもちろん関東ふれあいの道のルートである





## 城峯公園展望台から、下久保ダムを見る



今日は城峯公園でソロキャンプ。公園内は水もあるし、自販機もあるし、トイレもある

[参考タイム] 皆野駅(8:23)→西門平バス停(8:50-9:00)→鐘掛城跡(11:00-11:10)→石間峠(11:25-11:50 昼)→城峯山(12:00-12:05)→城峯神社 12:20-12:30)→石間峠(13:00)→宇那室(14:25:14:30)→城峯公園(15:00)

この項完

関東ふれあいの道を歩く(埼玉)⑩下久保ダムを望むみちに続く